

株式会社エフエム茶笛

2025 年度第 5 回番組審議会議事録

1. 開催年月日：令和 8 年 1 月 16 日（金）17 時 00 分～18 時 00 分

2. 開催場所：株式会社エフエム茶笛 2 階 会議室

3. 委員の出席

委員総数：5 名

出席委員数：5 名

出席委員：水村雅啓（番組審議委員長）、飯島静江、黒川進、若月真理子、大野勉

放送事業者側出席者：代表取締役社長 荻野 喜美雄

専務取締役 東 たか子

放送局長 宮岡 洋明

制作課長 秋山 知広

4. 議 題：番組の放送内容について

5. 議事概要：

議題に沿って委員より放送聴取の感想・意見・疑問点などを挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進行、必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答しながら会を進めました。

6. 審議内容

委員：

最近の番組は、取材力がパワーアップしたように感じます。レポーターもとても上手で、取材の内容も非常に良く、臨場感も伝わってきます。また、地域の学校や公共施設、企業などと連携したイベントの情報は非常に興味深く、楽しく聴いています。

委員：

「入間市市民ひろば」（金曜日 10 時・土曜日 13 時・日曜日 15 時）は内容の良い番組になっていると思います。レポーターの中崎博之さんは、誰に対しても隔たりがなく、その中に飛び込んで取材をしているように感じてとても好感がもてます。

委員：

「まちネタジュークボックス」（金曜日 12 時）は、週末のイベントに特化している番組で、毎週聴いています。非常に内容も良く、個性的な田中アヤさんとパーソナリティの安田佳代さんのやり取りがとても面白いです。

委員：

「アルバムまるごとオンエア」（土曜日 11 時）は良い番組だと思います。その中で AI アナウンサーが登場しますが、仕組みがよく分からないので教えてもらいたいです。

事業者：

当社が活用している AI アナウンサーは、FM 和歌山が開発した「ダ・カーポ」という AI アナウンサーサービスです。

ダ・カーポでは、AI が話す内容自体はスタッフによる指示や操作が絡みますが、システムには、Amazon の AWS という AI を含むサービスが使われているため、イントネーションや間のとり方が AI によって変化・学習していく特徴があります。この AI アナウンサーを活用して、人手のいない時間帯の放送や、災害報道等、活用を広げていきたいと考えております。

委員：

気象情報についてですが、埼玉県西部地域と瑞穂町のスポット的な情報提供が地域の特性に配慮されていると思います。特に雷注意報や大雨情報については役に立つと思います。

委員：

月曜日の「防災豆知識」（とれたてラジオ）を聴いています。毎回、具体的な例を挙げて、分かりやすい表現で話していて参考になります。この番組の他にも FM チャッピーでは、常日頃から防災・減災に関する注意喚起を伝えています。繰り返し何度も聴くことで、もしもの時、慌てない心の準備になっているような気がします。今後もよろしくお願いします。

委員：

田中さくらさんがレポートされた時の放送を聴きました。地元入間市出身でご家族の方も地元の方ということで、田中さくらさんならではのレポートが、これから多く聴こえてくるかと思います。声のトーンや話し方に好感が持てます。今後の活躍に期待しています。

委員：

拝聴していると、災害や地震、線状降水帯などある中で様々な発信がリアルタイムでされていると思います。AI アナウンサーが活躍されていますが、今後どのように災害や有事があった時に多言語化されるのか、されないのか、されたとしてもそれを外国人が聴くのかという問題も出てくると思います。災害が起きた時は携帯ラジオを聴くというところまで落とし込んでいかないと、AI が多言語化しても何の意味も持たないものになると思います。その仕組みを官民とどのようにやっていくのか非常に気になるところです。地域の役割として必要な取り組みだと思っています。

事業者：

災害が激甚化していますので、様々な災害シチュエーションに対応できる災害報道体制を構築できるよう、AIを含めたテクノロジーを積極的に活用していきたいと思います。

委員：

「とれたてラジオ」（月～金、8時）ではXを頻繁に上げていて聴いているよりも内容が伝わってくるような感じがします。特に富士山の景色は、かなりインパクトがあります。実際に自分でも外に出て見てみたいという気持ちにさせてくれます。非常に臨場感がありSNSの使い方が上手だと感じました。

委員：

「週間いるま」（金曜日18時30分）を聴きました。入間ケーブルテレビの番組をラジオで放送していると思いますが、テレビ番組では気にならないアナウンスの「間」がラジオで聴くと、単なる「間」になってしまうのでラジオには不向きなように思います。ラジオを聴く人にとっては少し聴きづらいように感じました。

事業者：

入間ケーブルテレビの番組をラジオで放送しています。
ご指摘の「間」については、今後の番組制作の参考とさせていただきます。

委員：

AIアナウンサーですが、実力を発揮する時代が来る予感がします。

委員長：これで、審議を終了させていただきます。（以上で議事終了）

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

審議機関の答申又は改善意見の内容	事業者による対応措置	対応措置の実行年月日
「週刊いるま」の「間」の改善について	番組冒頭にアナウンスを追加	2026年1月17日

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

本議事録を、下記の日時、方法にて公表・閲覧可能と致します。

- ・1月23日より、弊社ホームページ（URL <http://www.fmchappy.jp>）にて掲載。
- ・1月25日（日）午前7：00～7：27「番組審議会レポート」にてラジオ放送。
- ・書面：自社来客用窓口に据え置き

以上